

3 歳児健診を受診される市民の皆様へ

「3 歳児の尿中タイチン濃度に関する研究」 ご協力をお願い

神戸市こども家庭局こども家庭支援課母子保健係

神戸市は、神戸学院大学が行う「3 歳児の尿中タイチン濃度に関する研究」に協力するため、3 歳児健診における尿検査後の残余検体（検査後に廃棄する尿）を匿名化して同大学へ提供いたします。以下に研究の概要を公開いたします。本研究実施についてご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には、残余尿検体を研究対象とせず廃棄いたしますので、受診日に健診会場で神戸市職員までお申し出ください。その場合でも健診受診に関する不利益が生じることはありません。

1. 研究の背景および目的

筋ジストロフィーなどの筋疾患の患者さんの尿中にタイチンというタンパクが高濃度に排泄されることが知られています。一方、小児におけるタイチン濃度の標準値は未解明であり、成人の標準値から推定しているのが現状です。そのため本研究は、3 歳児の尿中タイチン濃度を明らかにすることを目的として行われます。研究成果により小児の病気の同定が容易となり、将来診療の現場において診断の精度が向上することが期待されます。

2. 研究の対象

平成 30 年度の神戸市 3 歳児健診を受診された方の尿を分析対象とします。

3. 研究の方法

3 歳児健診時の尿検査に用いられた廃棄前の尿検体を用いて、尿中のタイチン濃度を測定します（同時に、分析に必要となる尿中クレアチニン濃度も測定します）。タイチン濃度の測定は研究の目的で分析され、分析結果を個別に報告することはありません。

4. 研究に用いる試料・情報

3歳児健診時の尿検査に用いられた尿検体のうち、健診会場で神戸市職員が尿検体に付いている氏名・生年月日を削除し匿名化するため（性別の情報はデータとして収集します）、特定の個人を識別しうる情報の収集は行いません。検体は神戸学院大学でのみ保管されます。

5. 研究組織

研究責任者：神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授 松尾雅文

共同研究者：

（データ解析協力）

神戸大学大学院医学研究科地域社会医学健康科学講座疫学分野 教授 西尾久英

（検体分析協力）

神戸大学大学院保健学研究科病態解析学領域 准教授 大澤佳代

公益財団法人先端医療振興財団先端医療センター センター長 鍋島陽一

研究協力機関：神戸市こども家庭局こども家庭支援課母子保健係

6. 研究資金

国立研究開発法人日本医療研究開発機構の難治性疾患実用化研究事業「Duchenne型筋ジストロフィーに対するカルパイン1阻害治療法の開発」

7. 研究期間 2018年2月8日（倫理審査承認日）～2019年3月31日

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

連絡先：神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授 松尾 雅文

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518

Tel 078-974-1551 mmatsuo@reha.kobegakuin.ac.jp

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には、残余尿検体を研究対象とせず廃棄いたしますので、受診日に健診会場で神戸市職員までお申し出ください。その場合でも健診受診に関する不利益が生じることはありません。